

国道8号に「赤瓦」看板を

かがルージュ戦略 加賀市長が要望

地域独特の景観を形成している「赤瓦」の金沢河川国道事務所を訪れ、ロードサイド看板などを設置する際に「かがルージュ」を採用するよう有野充朗事務所に要望した。寺前秀一市長は

金沢河川「協力したい」
国道事務所

務所に要望した。有野所長は「景観は重要。ぜひ協力したい」と積極的な姿勢を示した。市は新年度から、公共施設などで可能な限り赤瓦を導入する予定。北陸自動車道片山津インターチェンジなど観光客の目に付きやすい場所で「かがルージュ」の意匠を採用入れた観光案内・広告看板を整備する方針だ。



有野所長に要望書を手渡した寺前市長は「観光客の半数以上が車で訪れている」と説明。加賀市に入ったとたん「かがルージュ」の看板などが観光客の目に飛び込んでくる効果を訴え、国道8号にある道路設備で「かがルージュ」を導入するよう求めた。

有野所長は「景観形ガードレールやパイ



有野所長（左）に要望する寺前市長（同2人）
＝国交省金沢河川国道事務所
「かがルージュ」のロードサイド看板のイメージ図

成は地元への一体感が大事だ」と指摘した上で「条例などで『かがルージュ』の位置付けがしっかりと定められれば、こちらもやりの看板などがある。加賀市によると、高速道路以外の道路標識は道路法で青地か白地と定められているが、